

第 86 期 事業報告及びその附属明細書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 東京海上各務記念財団

I. 事業の状況

事業計画で掲げた 2 つの事業カテゴリー、公益事業 1 国内大学生及び ASEAN 諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業、公益事業 2 研究助成事業（学術の研究及び普及、並びに地震研究）に対する助成事業を行った。この結果、第 86 期事業年度の奨学金、助成金の支出額は、合計 134,120,000 円、公益事業費合計は 174,336,280 円となった。

事業毎の実施状況は次のとおり。

公益事業 1 国内大学生及び ASEAN 諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業

1. 国内大学生に対する奨学金事業

(1) 事業内容

本事業は、昭和 14 年財団創設以来、当財団の事業の根幹をなすものである。一部国立大学の授業料値上げを踏まえ、本年度より奨学金月額を 45,000 円から 50,000 円に増額した。

4 月に指定 18 大学より 45 名採用し、在籍者計 138 名に対して奨学金月額 50,000 円を給与した。海外留学支援制度の利用者は、昨年度の 5 名から 18 名と増加した。その結果、当期の奨学金は 90,720,000 円、事業費総額は 114,093,341 円であった。奨学生の所属大学及び人数は、次のとおりである。

東大 18 名、一橋大 12 名、東工大 8 名、筑波大 6 名、筑波技術大 6 名、東外大 7 名、慶大 14 名、早大 12 名、中央大 3 名、上智大 3 名、京都大 12 名、東北大 6 名、名古屋大 6 名、大阪大 6 名、高知大 4 名、北海道大 6 名、九州大 6 名、琉球大 3 名
計 138 名

(2) 主要な事業活動

- ① 奨学生の選考及び新奨学生向け授与式・オリエンテーション（2022 年 5 月 31 日）
首都圏奨学生は対面、首都圏外の学生はオンラインで候補者の面接を行い、選考委員会の審議を経て、当期採用の奨学生を決定した。3 年ぶりに対面での奨学生証授与式を実施し、理事長より奨学生証を手渡した。
- ② 日本の文化にふれる会（2022 年 7 月 9 日）
国立劇場での歌舞伎鑑賞教室に参加した。併せて奨学生同士の交流を推進する目的で懇親会を開催した。国内奨学生・ASEAN 奨学生計 68 名が参加した。
- ③ 那須スポーツパーク合宿研修（2022 年 9 月 8 日～9 月 9 日）
東京海上スポーツ財団が運営している那須スポーツパークで 1 泊 2 日の合宿研修を行った。国内奨学生・ASEAN 奨学生計 46 名が参加した。

④ ASEANを知る会 (2022年10月26日)

ASEAN諸国についての理解と奨学生間の交流を深めることを目的として、「ミャンマーを知る会」をオンライン開催した。国内奨学生・ASEAN奨学生計25名が参加した。

⑤ SNSの活用及び「友情の絆」発行 (2022年10月)

財団 Facebook グループを活用し、奨学生間のタイムリーな情報共有・意見交換を行い、相互理解を深めた。また、機関誌「友情の絆」第23号を発行した。

⑥ 交流の集い (2022年11月11日)

国内奨学生・ASEAN奨学生の交流会を、3年ぶりに対面にて開催した。参加者は現役奨学生のみとし150名が参加した。

⑦ 次年度奨学生募集活動 (2022年10月～12月)

2023年度募集要項の説明のため、指定18大学を往訪して打合せを行った。

⑧ 国内修了懇親会 (2023年3月28日)

国内修了者を対象に懇親会を開催し、39名が参加した。

2. ASEAN諸国からの大学院留学生に対する奨学金事業

本事業は、東京海上火災保険株式会社の創立110年記念事業の一環として1990年から開始した事業であり、同社からの毎年の寄付金をもとに実施している。

(1) 事業内容

ASEAN諸国から当財団が指定するわが国の大学の大学院(修士・博士課程)へ私費留学している学生を対象に奨学金を給与するもので、本年度採用した6名を含む在籍者15名に対して奨学金月額180,000円を給与した。その結果、当期の奨学金は32,400,000円、事業費総額は46,027,401円であった。

奨学生の所属大学、人数及び国籍は次のとおりである。

東大3名(タイ、ベトナム、マレーシア)、一橋大1名(ベトナム)、東工大1名(カンボジア)、筑波大1名(ベトナム)、北海道大1名(インドネシア)、名古屋大2名(ベトナム、インドネシア)、京都大3名(インドネシア、マレーシア、ミャンマー)、東北大1名(ベトナム)、大阪大1名(タイ)、上智大1名(フィリピン)
計15名

(2) 主要な事業活動

① 奨学生の選考及び新奨学生向け授与式・オリエンテーション (2022年5月31日)

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動①に記載

② 日本の文化にふれる会 (2022年7月9日)

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動②に記載

③ 那須スポーツパーク合宿研修 (2022年9月8日～9月9日)

1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動③に記載

- ④ ASEANを知る会 (2022年10月26日)
1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動④に記載
- ⑤ SNSの活用及び「友情の絆」発行 (2022年10月)
1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑤に記載
- ⑥ 交流の集い (2022年11月11日)
1. 国内大学生に対する奨学金事業(2) 主要な事業活動⑥に記載
- ⑦ 次年度奨学生募集活動(2022年10月～12月)
2023年度募集要項の説明のため、指定14大学を往訪して打合せを行った。
- ⑧ ASEAN現地同窓会
4年ぶりに現地同窓会を開催し、ASEAN卒業生との絆を深めた。
- a. ジャカルタ同窓会 (2023年2月1日)
インドネシア在住の卒業生11名とTMインドネシア社1名が参加した。
- b. ハノイ同窓会 (2023年2月15日)
ベトナム在住の卒業生5名とTMベトナム社1名が参加した。
- c. バンコク同窓会 (2023年2月24日)
タイ在住の卒業生6名とTMタイ社から3名が参加した。
- ⑨ 修了式 (2023年3月15日)
大学院博士課程、修士課程を修了した4名(タイ1名、ベトナム2名、インドネシア1名)の修了式を行い、賞状を贈呈した。修了後の進路は、1名が東京大学の研究員、1名が一橋大学ジュニアフェロー、1名がUniversity Medical Center Hamburgの研究員、1名が日本の民間企業に就職した。
- ⑩ ベトナム東京同窓会 (2023年3月18日)
大学院卒業後、日本国内に在住しているベトナム人卒業生と奨学生の交流促進のため、ベトナム東京同窓会を対面開催し、24名が参加した。

奨学生選考委員会の構成は次のとおり。

(2023年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
選考委員	高谷紀夫	2022.7.1	広島大学名誉教授
同	杉山武彦	同	一橋大学名誉教授
同	雨宮寛	同	元東京海上ホールディングス副社長
同	磯貝隼人	同	元東京海上日動執行役員
同	長村政明	同	東京海上日動フェロー
同	長沼聡史	同	東京海上日動執行役員 海外事業企画部長
同	古川雅晴	同	当財団常務理事

公益事業2 研究助成事業

今期の研究助成金は以下1、2を合わせて11,000,000円、事業費総額は14,215,538円となった。それぞれの助成内容は、以下のとおり。

1. 学術の研究及び普及に対する助成事業

本事業は、国内の若手研究者が、国内、国外を問わず行う社会科学系の研究に対する助成であり、2022年10月25日に審査委員会を開催し、以下5件の助成を採択した。今期より学術の助成金額を1件あたり800,000円より1,000,000円に増額した。また、慶應義塾大学と早稲田大学を助成先に追加した。

助成先	目的事項	助成金額
東京大学大学院法学政治学研究科 准教授 阿部 裕介	担保法制の見直しを契機とした担保物権の理論的位置づけの再検討	1,000,000円
東京大学大学院経済学研究科 講師 高木 悠貴	Concessions and Information Cascades in Autocracies	1,000,000円
一橋大学社会科学高等研究院 特任講師 青木 哲也	継続的な成長を遂げるための戦略的ポートフォリオ・マネジメント	1,000,000円
慶應義塾大学経済学部 准教授 千賀 達朗	不確実性下の企業行動とマクロ経済の資源配分	1,000,000円
早稲田大学政治経済学部 准教授 久保田 荘	貨幣取引の基礎付けと新しい金融政策モデルの構築	1,000,000円
合計		5,000,000円

学術研究助成審査委員会の構成は、以下のとおり。

(2023年3月31日現在)

役職	氏名	就任年月日	現職
審査委員	高谷 紀夫	2022.7.1	広島大学名誉教授
同	雨宮 寛	同	元東京海上ホールディングス副社長
同	古川 雅晴	同	当財団常務理事

2. 地震研究助成事業

本事業については、地震研究助成要綱に基づき審査委員会を開催している。当期においては、2022年7月27日、12月14日、2023年2月28日に審査委員会を開催し、以下6件の助成を採択した。

助成先	目的事項	助成金額
弘前大学大学院 理工学研究科 助教 高野 智也	鉛直地震計アレイ観測による、浅部構造の 時間変化の推定	1,000,000円
鹿児島大学大学院 理工学研究科 附属南西島孤地震火山観測所 准教授 八木原 寛	トカラ列島近海の群発的地震活動域の 地震観測研究	1,000,000円
東京大学地震研究所 助教 山田 知朗	沈み込み帯固着強度遷移域における 地震活動の研究	1,000,000円
神戸大学海洋底探査センター 教授 杉岡 裕子	海底光ファイバ通信網を利用した 地震動モニタリング	1,000,000円
東京大学地震研究所 助教 悪原 岳	海底地震計の波形データ解析による 巨大地震断層面流体分布の調査	1,000,000円
九州大学大学院人間環境学研究院 助教 重藤 迪子	強震観測記録に基づくカトマンズ盆地周辺の 衝上断層における震源特性の把握	1,000,000円
合 計		6,000,000円

地震研究助成審査委員会の構成は、以下のとおり。

(2023年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
審査委員	金 沢 敏 彦	2022. 7. 1	地震予知総合研究振興会会長
同	平 田 直	同	東京大学名誉教授
同	田 口 重 憲	同	文部科学省研究振興局主任学術調査官
同	古 川 雅 晴	同	当財団常務理事

II. 処務の概要

1. 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事

(理事)

定数 6名以上10名以内

現在 8名(非常勤8名)

任期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
 終結の時まで

(監事)

定数 3名以内

現在 2名(非常勤)

任期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
 終結の時まで

2023年3月31日現在

役職	氏名	就任日	常勤・非常勤の別	現職	最初の就任年月日
理事長	石原邦夫	2022.6.22	非常勤	東京海上日動 相談役	2017.6.19
常務理事	古川雅晴	同	同	当財団常務理事	2021.6.23
理事	越智仁	同	同	三菱ケミカルグループ シニアエグゼクティブ コンサルタント	2022.6.22
同	工藤泰三	同	同	日本郵船 特別顧問	2020.6.16
同	小林健	同	同	三菱商事 相談役	2020.6.16
同	杉山武彦	同	同	一橋大学 名誉教授	2004.7.1
同	藤田友敬	同	同	東京大学 法学政治学研究所 教授	2020.6.16
同	和田清	同	同	東京海上日動 常務	2022.6.22
監事	上田孝二郎	同	同	上田公認会計士事務所 公認会計士	2010.3.11
同	富張嘉則	同	同	元東京海上日動 経理部長	2013.6.25

(五十音順・敬称略)

(2) 評議員

定数 9名以上15名以内

現在 10名（非常勤10名）

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

2023年3月31現在

役職	氏名	就任日	現職	最初の就任年月日
評議員	植田和男	2022.6.22	共立女子大学 教授	2017.6.19
同	上原治也	同	三菱UFJ信託銀行 特別顧問	2018.6.18
同	大森京太	同	三菱総合研究所 特別顧問	2022.6.22
同	各務謙司	同	カガミ建築計画 代表	2019.6.28
同	小室正紀	同	慶應義塾大学 名誉教授	2015.6.17
同	隅修三	同	東京海上日動 相談役	2007.7.1
同	永野毅	同	東京海上ホールディングス 取締役会長	2017.6.19
同	三毛兼承	同	三菱UFJフィナンシャルグループ 取締役執行役会長	2022.6.22
同	三宅占二	同	キリンホールディングス 名誉相談役	2018.6.18
同	山下友信	同	同志社大学法科大学院 教授	2004.7.1

(五十音順・敬称略)

2. 職員に関する事項

2023年3月31現在

役職	氏名	入社年月日	担当
事務局長	曾村俊幸	2018.4.1	総括
職員	大坪きくこ	2014.4.1	庶務・会計
職員	田中佳子	2015.12.1	庶務
職員	菅近洋子	2020.4.1	庶務

3. 会議に関する事項

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	結果
2022年6月3日	(1) 第85期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告及び 決算(案)承認の件 (2) 評議員会招集の件(6月22日) (3) 奨学生選考委員・学術助成審査委員・地震研究助成審査委員の選任の件 ①奨学生選考委員:杉山武彦、雨宮寛、磯貝隼人、長村政明、 長沼聡史、古川雅晴(以上再任) 高谷紀夫(新任) ②学術研究助成審査委員:雨宮寛、古川雅晴(以上再任) 高谷紀夫(新任) ③地震研究審査委員:金沢敏彦、平田直、田口重憲、古川雅晴(全員再任) (4) 報告事項 2022年度奨学生採用状況	原案可決 原案可決 原案可決
2022年6月22日 (決議があったと みなされる日)	定款第35条2項による理事会 (1) 理事長の選定の件 理事長として石原邦夫氏を選任する (2) 常務理事の選定の件 常務理事として古川雅晴氏を選任する	原案可決 原案可決
2023年3月10日	(1) 第87期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業計画(案) 承認の件 (2) 第87期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)収支予算(案)、 資金調達及び設備投資の見込み(案)承認の件 (3) 学資給与規程等の改定の件 財団が特別な事情があると認めるときは6ヶ月を超えない期間について 延長を行うことがある (4) 報告事項 ①研究助成の採択 ②奨学生修了者の進路 ③在籍奨学生の留学状況 ④資産運用 ⑤ASEAN現地同窓会の実施	原案可決 原案可決 原案可決

(2) 評議員会

開催月日	議 事 事 項	結果
2022年6月22日	(1) 第85期(2021年4月1日から2022年3月31日まで) 事業報告及び 決算(案)承認の件 (2) 理事および評議員の選任の件 ①理事候補者 石原邦夫、工藤泰三、小林健、杉山武彦、藤田友敬、 古川雅晴(以上再任) 和田清(半田禎の後任として) 越智仁(冨澤龍一の後任として) ②監事候補者 上田孝二郎、富張嘉則(以上再任) ③評議員候補者 植田和男、上原治也、各務謙司、小室正紀、隅修三、永野毅、 三宅占二、山下友信(以上再任) 三毛兼承(畔柳信雄の後任として) 大森京太(田中將介の後任として) (4) 報告事項 ①第86期事業計画及び収支予算 ②奨学生修了者の進路 ③2022年度奨学生採用状況 ④在籍奨学生の留学状況	原案可決 原案可決

(3) その他の会議

「I. 事業の状況」に記載のとおり。

4. 許可、認可及び承認に関する事項
なし

5. 内閣府指示に関する事項
なし

6. 契約に関する事項
なし

7. 寄付金に関する事項

目的	寄 付 者	寄付金額	備 考
事業資金	東京海上日動火災保険株式会社	12,600,000円	ASEAN奨学金事業資金として

8. その他の重要事項

2022年4月21日 第85期事業年度決算数字につき、太陽有限責任監査法人の期末監査を受けた。

2023年1月19日 第86期事業年度決算数字につき、太陽有限責任監査法人の中間監査を受けた。

【事業報告の附属明細書】

事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。